

# PlateSpin Forge 11.0 リリースノート

2014年8月15日



バージョン 11.0 は PlateSpin Forge のハードウェアおよびソフトウェアのリリースで、新機能、機能強化、およびバグ修正を提供します。

同梱の以前の Forge リリースのリリースノートについては、[PlateSpin Forge 11 マニュアル Web サイト](#) にアクセスし、メインページの下部にある *目次の以前のリリースを確認してください*。

- ◆ [1 ページのセクション 1 「このリリースについて」](#)
- ◆ [2 ページのセクション 2 「バグフィックス」](#)
- ◆ [3 ページのセクション 3 「既知の問題」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 4 「連絡先情報」](#)
- ◆ [5 ページのセクション 5 「保証と著作権」](#)

## 1 このリリースについて

- ◆ [1 ページのセクション 1.1 「新機能」](#)

### 1.1 新機能

- ◆ 新しい Forge 管理 VM。この機能は Windows 2012 R2 オペレーティングシステム上で実行され、Microsoft SQL Server 2014 を使用する際に、vSphere 5.5 のライセンスが付与されます。
- ◆ Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、および Windows 8.1 ワークロードのサポート。
- ◆ Windows 2008 R2 クラスターのサポート。
- ◆ 新しい PlateSpin Forge アプライアンスハードウェア：
  - ◆ PlateSpin Forge 710(10 ワークロードモデル)
  - ◆ PlateSpin Forge 725(25 ワークロードモデル)
  - ◆ PlateSpin Forge 740(40 ワークロードモデル)

各ハードウェアモデルの機能：

- ◆ デュアル 8 コア CPU
- ◆ 128GB の RAM
- ◆ ワークロードレプリケーションのために使用できる RAID 保護された 20TB 超のストレージ

すべての PlateSpin Forge シリーズの 700 モデルに、追加のワークロードライセンスを (5 ライセンス単位で) 上限なしで追加できます。

- ◆ 各 PlateSpin Forge 700 シリーズのアプライアンスには、PlateSpin Recon プロジェクトライセンスが付与されています。ライセンスを持つ Recon 製品を使用すると、ご使用の環境における 100 台までの運用サーバの理想的なワークロード数とパフォーマンスを判断できます (30 日間のみ)。モニタリングデータを使用して、Forge で保護するワークロードの数と回復パフォーマンスのバランスを取る方法を判断できます。

PlateSpin Forge の詳細は、[NetIQ PlateSpin Forge 4 マニュアルの Web サイト \(https://www.netiq.com/documentation/ps\\_recon4/index.html\)](https://www.netiq.com/documentation/ps_recon4/index.html) を参照してください。

## 2 バグフィックス

このリリースは、以下のバグに対応しています。

- ◆ **857253 SQLサービスのシャットダウンに関する64ビットMSSQLサーバの警告/情報メッセージが表示しない。**レプリケーション方法としてファイルベース転送が選択された場合に、64ビットSQL Server を実行している Windows 2003 ワークロードのシャットダウンで、ユーザへの警告メッセージの表示に失敗していました。SQL Server のバージョンを正しく検出し、関連サービスのシャットダウンや適切な停止のためのサービスの設定を促すことができるようになりました。
- ◆ **862462 フェールオーバーのテストのための設定で Windows ホスト名の変更が失敗する。**以前はフェールオーバーのテストで Windows ホスト名を変更すると、問題が発生していました。設定タスクリストの作成プロセスが変更され、この問題が修正されました。
- ◆ **863853 [フェールバック] ウィンドウが翻訳されていない。**ローカライズバージョンの製品では、[フェールバック] ウィンドウの文字列は、一部が英語で表示されていました。問題となっている文字列は、適切にローカライズされました。
- ◆ **869036 Windows 2008 R2 への PlateSpin Server のインストールが失敗する。**本製品では、インストールランチャの前提条件に .NET 4 フレームワークを使用します。その結果、現在は Windows 2008 R2 へのサーバインストールは正常に実行されるようになりました。
- ◆ **873789 Windows 2012 に Forge をインストールする時に、.NET フレームワークが正しく検出されない。**.NET の検出に関する変更が製品に追加されたため、現在はバリデータからの警告は表示されません。
- ◆ **874359 https://forgeVM\_IP:8098 ページを Forge Appliance Configuration Console にマージする必要がある。**以前は、PlateSpin Server の https://forgeVM\_IP:8098 ページに、Forge Appliance Configuration Console と重複する視覚化された詳細情報がありました。この :8098 ページは、アクセス不可でレンダリングされるようになりました。
- ◆ **874861 Forge インストールバリデータでインストールが停止しない。**以前は、エラーが発生しても Forge インストールは継続し、インストールログでそのエラーが報告されていました。し、現在は、スクリプトが失敗するとインストールが停止し、エラーメッセージが端末に表示されます (ttyll: <Ctrl>+<F11>)。
- ◆ **878344 Forge Appliance Configuration Console がトリガするリフレッシュコンテナが失敗またはタイムアウトになる。**OFX および PlateSpin 管理サービスが新しいユーザパスワードで更新されないため、Forge ACC を使用して Forge ホストまたは Forge VM を変更するときに起動できない。これらのサービスは新しいパスワードで更新され、正しく機能するようになりました。
- ◆ **880179 コンテナの追加に失敗する。**Forge 11 VM をインストールして適切なネットワーク情報に変更した後、Forge Web クライアントのコンテナオブジェクトに [Add failed(追加に失敗)] ステータスが表示されます。新しい Windows 2012 Forge 管理 VM にスターターライセンスが追加され、問題が修正されました。

- ◆ **880379 Forge VM の VMware ツールが最新ではない。** Forge 11 VM の起動と vSphere クライアントにある VM の [サマリ] タブの検査時に、VMware ツールのステータスが [out of date(最新ではない)] と表示されます。このリリースでは、新しい VMVMware ツールが追加されました。
- ◆ **880616 Forge のユーザインタフェースで、アプライアンスのバージョンが欠落している。** 以前は、Forge のメニューで [バージョン情報] を選択すると、[Appliance Version Unknown(アプライアンスのバージョンが不明です)] というメッセージが表示されました。現在は、アプライアンスバージョン 3 が登録されて ESXi バージョン 5.5 と関連付けられたため、インタフェースにも表示されます。
- ◆ **880841 コンテナの IP アドレスと名前が Forge のユーザインタフェースで更新されない。** ESXi のホスト IP アドレスを使用中の IP アドレスに変更しても、コンテナの IP アドレスと名前が Forge UI で更新されませんでした。[Confirm Changes(変更の確認)] オプションが選択されている場合、Forge によってこの問題が検出され、変更がロールバックされるようになりました。
- ◆ **881197 VM バージョン 10 として作成されたターゲット VM の設定を VIC で管理できない。**  
フェールオーバー用のターゲット VM のバージョンの設定に誤りがありました。フェールオーバー VM の作成時に許容される最大のハードウェアバージョンを制御するための環境設定が追加されました。作成されたターゲット VM の現在のデフォルトバージョンは vmx-09 です。

### 3 既知の問題

- ◆ **Linux ワークロードに対するソフトウェア RAID サポートなし：** PlateSpin Forge は、ソフトウェア RAID のボリュームの Linux ワークロードをサポートしていません。
- ◆ **558937 VSS を使用するブロックレベルのレプリケーションの失敗 (Windows):** VSS ベースのサードパーティ製バックアップソフトウェアを使用している場合は、ブロックレベルのレプリケーションが場合によっては失敗することがあります。  
回避策：ブラックアウトウィンドウ (『ユーザガイド』の「保護ティア」を参照) を使用します。
- ◆ **581860 中国語エディションの製品でブラウザの例外が発生する：** 特定のバージョンの中国語が追加されていないブラウザを使用して PlateSpin Forge Server に接続しようとする、Web ブラウザにエラーが発生する可能性があります。適切に動作するようにするには、ブラウザの環境設定を使用して特定の中国語 (たとえば、Chinese [zh-cn] または Chinese [zh-tw]) を追加します。文化的な区別のない Chinese [zh] という言語は使用しないでください。
- ◆ **590635 アップグレード後、フェールオーバーの結果が矛盾する：** PlateSpin Forge にアップグレードすると、フェールオーバーの操作が失敗したり、適切なホスト名やワークグループ設定などの正しいフェールオーバーパラメータが適用されなかったりする可能性があります。  
回避策：フェールオーバーを実行する前に、レプリケーションを実行します。
- ◆ **595490 フェールバック時にブートパーティションを保持すると、フェールバックが停止する：**  
一部のフェールバックシナリオでは、ターゲットのアクティブ (またはブート) パーティションの保持がシステムによって不適切に許可されるため、ターゲットが正しくブートしなくなります。この問題は調査中です。  
回避策：[フェールバックの詳細] では、ターゲットのブートパーティションを保持することを選択しないでください。

- ◆ **610918 統合ヘルプ内の展開アイコンおよび縮小アイコンが反応しない**: 拡張ブラウザセキュリティ設定を使用した一部のシステム (Windows Server 2008 上の Internet Explorer 11 など) では、目次内の展開アイコンおよび縮小アイコン (+ および -) が機能しない場合があります。この問題を修正するには、ブラウザ内で JavaScript を有効にします。

  - ◆ **Chrome**: Chrome メニューから [設定] を選択し、スクロールして [詳細設定を表示] をクリックします。続いて、[コンテンツの設定] > [すべてのサイトで JavaScript の実行を許可する] の順に選択します。
  - ◆ **Internet Explorer**: [Tools ( ツール )] > [Internet Options ( インターネットオプション )] > [Security ( セキュリティ )] タブ > [Internet ( インターネット )] ゾーン > [Custom level ( カスタムレベル )] の順にクリックし、[Active Scripting ( アクティブスクリプティング )] 機能用の [Enable ( 有効にする )] オプションを選択します。
  - ◆ **Firefox**: [Tools ( ツール )] > [Options ( オプション )] > [Content ( コンテンツ )] タブの順にクリックし、[Enable JavaScript ( JavaScript を有効にする )] オプションを選択します。
- ◆ **611105 アップグレード後に保護契約が見当たらない**: Forge アプライアンスをバージョン 3 にアップグレードすると、[Ready for Failback ( フェールバックの準備ができました )] または [Ready for Reprotect ( 再保護の準備ができました )] の状態にあるワークロードを持つ保護契約がユーザインタフェース上で見当たらない可能性があります。この問題は、次の修正の際に考慮されます。
- ◆ **655828 NSS ボリュームのマウントの失敗**: フェールオーバー時またはフェールオーバーをテストした時に、スナップショットが有効になっている NSS ボリュームが期待とおりに自動的にマウントされません。

[ナレッジベースの記事 7008773](#) を参照してください。
- ◆ **686911 データストアとの間のファイルの送受信に問題がある**: 保護ターゲットが VMware DRS Cluster である特定の状況下において、システムはブート ISO イメージなどのファイルのアップロードまたはダウンロードが失敗する場合があります。これは保護コントラクトにマイナスの影響を与える可能性があります。

[ナレッジベースの記事 7008408](#) および [ナレッジベースの記事 7008306](#) を参照してください。
- ◆ **698611 特定の状況下でのフルクラスタレプリケーションの障害**: Windows 2008 R2 クラスタ保護契約が既存の VM への同期を通じてセットアップされる場合、およびアクティブなクラスターノードがフルレプリケーションの前にひっくり返った場合、フルレプリケーションジョブが失敗します。

[ナレッジベースの記事 7008771](#) を参照してください。
- ◆ **884401 Windows 2012 R2 ワークロードが異なるディスクコントローラタイプで作成されている**: PlateSpin Forge で作成される Windows 2003/2008 のターゲットワークロードは [LSI Logic Parallel ( LSI 論理パラレル )] コントローラタイプ ( ベストオブブリードに分類される ) ですが、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2 のワークロードは [LSI Logic SAS ( LSI 論理 SAS )] コントローラタイプで作成されます。この置き換えは仕様によるものです。VMware 社の [ナレッジベース \(http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en\\_US&cmd=displayKC&externalId=2059549\)](http://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=2059549) で、これらのオペレーティングシステムにはパラレルドライバが標準装備されていないことが説明されています。このため、Forge ではこれらのターゲットに SAS ドライバを使用します。
- ◆ **889815 [Windows Cluster ( Windows クラスタ )] ハートビートネットワークがフェールオーバー時に正しく設定されない**: フェールオーバー時に、ハートビート NIC が静的アドレスで設定されません。その結果、NIC の設定プロセスが失敗し、かわりに DHCP が設定されます。

この問題は現在調査中です。

**回避策**: ハートビート NIC の正しい静的 IP を手動で設定します。

## 4 連絡先情報

弊社の目標は、お客様のニーズを満たすマニュアルの提供です。改良点に関するご意見は、[Documentation-Feedback@netiq.com \(mailto:Documentation-Feedback@netiq.com\)](mailto:Documentation-Feedback@netiq.com) まで電子メールでお寄せください。貴重なご意見をぜひお寄せください。

詳細な連絡先情報については、[サポート連絡先情報 Web サイト \(http://www.netiq.com/support/process.asp#phone\)](http://www.netiq.com/support/process.asp#phone) を参照してください。

一般的な会社情報と製品情報については、[NetIQ の Web サイト \(http://www.netiq.com/\)](http://www.netiq.com/) を参照してください。

他のユーザや NetIQ のエキスパートとやり取りするには、弊社の [コミュニティ \(https://www.netiq.com/communities/\)](https://www.netiq.com/communities/) のアクティブなメンバーになってください。NetIQ オンラインコミュニティでは、製品情報、有益なリソースへの役立つリンク、ブログ、およびソーシャルメディアチャネルが用意されています。

## 5 保証と著作権

本書および本書に記載されているソフトウェアには、使用許諾契約または守秘契約が適用され、これらの条項の下に提供されます。上記ライセンス契約または守秘契約に明示されている場合を除き、NetIQ 社は、本書および本書に記載されているソフトウェアを「現状のまま」提供するものとし、明示的、黙示的を問わず、商品性または特定目的への適合性に対する黙示的な保証を含め、いかなる保証も行いません。州によっては、明示的、黙示的を問わず、特定の取引に関する保証の否認が認められていないため、この記述が適用されない場合もあります。

わかりやすくするため、すべてのモジュール、アダプタ、またはそれに類する要素（「モジュール」）は、そのモジュールが関連または相互作用する NetIQ 製品またはソフトウェアの当該バージョンのエンドユーザ使用許諾契約の条項と条件に基づいてライセンスが供与されます。モジュールを接続、複製、または使用することは、これらの条項に従うことに同意したことになります。エンドユーザ使用許諾契約の条項に同意しない場合、モジュールを使用、接続または複製する権利はなく、モジュールのすべての複製を破棄して頂く必要があります。詳細については NetIQ にお問い合わせください。

本書および本書に記載されているソフトウェアは、法律によって認められた場合を除き、NetIQ 社が書面をもって事前に許可しない限り、貸出、販売、譲渡することはできません。上記の使用許諾契約または守秘契約に明示されていない限り、NetIQ 社の書面による事前の同意がない場合は、本書および本書に記載されているソフトウェアのいかなる部分も、電子的、物理的、またはその他の方式を問わず、いかなる形式や手段においても再現したり、情報取得システムに保存または転送することは禁じられています。本書に記載されている会社名、個人名、データは引用を目的として使用されており、実際の会社、個人、およびデータを示していないことがあります。

本書は技術的な誤りおよび誤植を含むことがあります。本書の情報は定期的に変更されます。定期的な変更は、本書の新版に組み込まれることがあります。NetIQ 社は、本書に記載されているソフトウェアに対して、随時改良または変更を行うことがあります。

米国政府の制限付き権利：ソフトウェアおよび文書が、米国政府または米国政府の元請人または下請人（階層を問わず）によって直接または間接的に取得される場合は、48 C.F.R. 227.7202-4 (for Department of Defense (DOD) acquisitions) および 48 C.F.R. 2.101 および 12.212 (for non-DOD acquisitions) に基づき、ソフトウェアまたは文書の使用、修正、再生、リリース、実行、表示、開示などに関する政府の権利は、このライセンス契約に記載されている商用ライセンスの権利および制限に全面的に従うものとしします。